

訂正とお詫び

学術誌『Bella Pelle』2025 年 2 月号に下記の誤りがございました。

p.44 本文 左段 4～9行目

※数値の根拠に誤りがございました

誤 … 遅発性有害事象に関する文献レビューによると、合併症の平均発生率は 1.13%という報告があるが、そのうち遅発性炎症反応（delayed inflammatory reaction ; DIR）の一部に含まれる遅発性結節（delayed onset nodule ; DON）は 37%, 血管内塞栓（vascular occlusion ; VO）は 27%を占めている²⁾。

正 … 遅発性有害事象に関する文献レビューによると、合併症の平均発生率は 1.13%という報告であった²⁾。AMET が施術者に行った調査によると、施術者が経験した有害事象の割合は、遅発性炎症反応（delayed inflammatory reaction ; DIR）の一部に含まれる遅発性結節（delayed onset nodule ; DON）が 37%を占めていた。また同調査で、血管内塞栓（vascular occlusion ; VO）は 27%であった。

p.47 本文 右段 7～9行目

※単位に誤りがございました

誤 … の局所的な溶解を目的とする場合は 500 IU/mL、表面積が広くない一般的な部位には 1,000 IU/mL、さらに表面積が広い場合は 1,500 IU/mL が検討されることが

正 … の局所的な溶解を目的とする場合は 500 IU、表面積が広くない一般的な部位には 1,000 IU、さらに表面積が広い場合は 1,500 IU が検討されることが

関係者ならびに読者の皆様方にご迷惑おかけいたしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、謹んで訂正させていただきます。